




# 全国洋上風力コンソーシアム等 活動紹介

① HOKKAIDO洋上風力産業推進ネットワーク


②  MOPA 室蘭洋上風力関連事業推進協議会


③  特定非営利活動法人青森風力エネルギー促進協議会


④  秋田風力発電コンソーシアム『秋田風作戦』

⑤  遊佐町沖洋上風力産業振興プラットフォーム


⑥ 愛媛県洋上風力産業振興コンソーシアム

⑦  北九州市 グリーンエネルギーポート  
CITY OF KITAKYUSHU ひびき事業

⑧  福岡県風力発電産業振興会議

⑨  九州洋上風力関連産業ネットワーク  
経済産業省 九州経済産業局

⑩  唐津GX推進プラットフォーム

⑪  特定非営利活動法人  
NaMICPA 長崎海洋産業クラスター協議会



HOKKAIDO洋上風力産業推進  
ネットワーク（北海道）

情報発信

マッチング

## 団体概要

- 設立年 2025年10月24日
- 会員数  
業種 集計中
- 代表者 北海道経済産業局長、北海道知事
- 活動地域 道内  
道内の洋上風力産業に関連する企業、経済・業界団体、教育機関、行政等が連携して、洋上風力関連産業の立地や道内企業の洋上風力関連産業への参入に向けた情報交換や交流の場を創出することにより、本道における洋上風力発電関連産業の振興を図ることを目的とする。
- 設立目的
- 発足経緯 関連産業の裾野が広い洋上風力発電により、道内に最大限の経済波及効果をもたらせるよう、オール北海道で企業の参入を図り、洋上風力関連産業のサプライチェーン構築を目指すため、北海道経済産業局と北海道で共同設立。

## 活動概要

- 国や支援機関等が実施する取組や事業環境の向上に向けた情報提供・情報共有。
- 道内事業者の参入意欲の喚起、参入可能な技術・設備の情報共有、マッチングの促進など、国や道、関係市町村や支援機関等が実施する各種支援策との連携促進。
- 国や道、関係市町村や産業支援機関などが行うGX産業の集積に向けた立地促進施策との連携の促進
- その他、本ネットワークが必要とする事業の推進

## 本ネットワークへの会員募集中

- ・ 参加/脱退は自由で会費・負担金などはなし。
- ・ 無料でメールマガジンなどにより国や支援機関等の実施取組に関する情報が入手可能。

※会員として参加しても再エネ海域利用法に基づく法定協議会や  
入札評価には関係しません。

## &lt;申込方法&gt;

## 1 北海道電子申請サービスによる申込

<https://www.harp.lg.jp/Squzf3Jx>



## 2 E-メールによる申込

「入会（更新）申込書」※に必要な事項を記入の上、  
下記アドレスまで送付ください。

北海道経済部GX推進局GX推進課風力係

[gx.suishin@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:gx.suishin@pref.hokkaido.lg.jp)

※<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/gxs/238408.html>

よりダウンロードしてください。

## 室蘭洋上風力関連事業推進協議会

情報発信

マッチング

実証・研究開発

人材育成

視察

政策提言

案件形成

調査

企業誘致

## 団体概要

- 設立年 2020年1月21日
- 会員数・業種 130社（2025年11月時点）  
鉄鋼業、金属加工業、建設業、製造業、発電事業者、海運・輸送業、コンサルティング、教育機関など
- 代表者 会長 関根 博士（三菱製鋼株式会社）
- 活動地域 北海道西胆振地方、主に室蘭市
- 設立目的 室蘭に洋上風力関連事業等を誘致し西胆振の産業活性化を図るため、室蘭のポテンシャル・優位性を洋上風力関連事業者に向けて広く広報活動をするほか、学術研究機関との連携や人材育成に貢献。余剰電力を用い生み出す水素の活用により、水素で動く工場・街を作る。
- 発足経緯 鉄と港と風を活かして洋上風力発電産業に取り組むことで、鉄の町室蘭をもう一度活性化させたい思いから、室蘭市とともに構想を練り民間主体の協議会として発足。



## 活動概要

■ 外部発信  
市民を対象としたフォーラムを室蘭や札幌で開催。2021年春から毎年WIND EXPOに出展し、GOWS-Jには2024年の札幌から継続してブースを出展。室蘭の優位性と知名度の向上、会員企業の紹介を実施。

■ 内部活動  
毎年2回の会員セミナーで、外部講師の講演や、会員企業が持つ新技術などを発表。また会員向けに事業視察を実施。

■ 支援活動  
MOPAの活動に資すると考えられる研究や研究者に費用援助をはじめ、長崎大学やIACOWとも連携し、会員企業がインターンを受け入れる際の橋渡し。



## トピックス

## ■ 市民フォーラムの開催

これまでに室蘭と札幌で3回の市民フォーラムを開催。室蘭では2回とも500名以上の市民のみなさまに参加いただきました。



## ■ WIND HOKKAIDOの開催

2023年には北海道の洋上風力を盛り上げるため、札幌でWIND HOKKAIDOと題して風力業界を代表するみなさまを講演者・パネリストとしてお招きし開催。オンラインを含め800名以上集客。



## ■ 会員向け事業視察

2025年、MOPA正会員を対象に、洋上風力の最先端に行く北九州市への事業視察を行いました。



## ■ 他団体との連携・提携

洋上風力関連の人材育成に取り組んでいる「産学連携洋上風力コンソーシアム（IACOW）」とMOPAにて、包括連携協定を締結する署名式を執り行いました。

その他、北海道経済連合会・室蘭商工会議所・長崎海洋産業クラスター形成推進協議会（NaMICPA）に加盟しています。



## 団体情報

## 室蘭洋上風力関連事業推進協議会 事務局

〒051-0023 北海道室蘭市入江町1番地115 THINK M A2-106  
0143-23-3777  
<https://mopa-j.com/>  
[mopa@denzai.group](mailto:mopa@denzai.group)

# 特定非営利活動法人 青森風力エネルギー促進協議会

情報発信	マッチング	実証・研究開発
人材育成	視察	政策提言
案件形成	調査	企業誘致

青森県

## 団体概要

- 設立年 2021年2月
- 会員数 84社（2025年10月末時点）  
業種 発電事業、金融業、建設業、海運業、コンサルタンツ業、学校法人など
- 代表者 本田 明弘（青森公立大学／弘前大学）
- 活動地域 青森県および周辺地域
- 設立目的 産学官金の連携のもと、風力・海洋エネルギー関連市場への参入をめざす青森県内企業を支援・育成することにより、青森県域を核とする地域産業の振興及び雇用の創出に寄与する。
- 発足経緯 2016年 弘前大学地域戦略研究所が「青森風力エネルギー研究会」発足。より広域的で実践的な組織として、2021年2月にNPO法人 青森風力エネルギー促進協議会が設立。



## 活動概要

- 企画・調査部会
  - ・地域での多業種連携に係る支援
  - ・地域でのサイトアセス 環境影響評価などに関する調査・研究
  - ・フィールドテストに関する企画・調査・研究
- T&C部会
  - ・港湾や道路などのインフラの利用計画 運用に係る調査・研究
  - ・地域におけるロジスティックスや各種産業との関連に係る調査・研究
- O&M部会
  - ・機械メンテナンスを含む稼働効率向上に関する地域での支援
  - ・運転中の継続的な環境影響調査などを含む上記に関する研究・調査
- 人材育成部会
  - ・スキルアップに係る資格取得の地域での支援
  - ・未就業者の人材育成に係る支援

## トピックス

### 人材育成活動

- 大学生・大学院生向け。（日本財団OIC）
  - ・ 開催日：2025年9月8(月) -11日（木）
- 高校生・高専生向け。（青森県）
  - ・ 開催日：2025年9月3-25日（計6回）
- 小学生向け。
  - ・ 開催日：2025年7月12日（土）

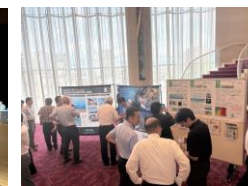


### 年次総会および講演会

- ・ 開催日：2025年6月17日（火）
- ・ 場所：青森商工会議所
  - ・ 講演1：「Siemens Gamesa の日本・アジア地域における洋上風力事業」
  - ・ 講演2：「高専における洋上風力人材育成の取り組み～COMPASS5.0再生可能エネルギー（風力）分野のご紹介～」
  - ・ 講演3：「浮体式洋上風力商用化への課題と地域経済波及の可能性」
  - ・ 講演4：「洋上風力発電が拓く東北の未来」

### 青森浮体式洋上風力サミット2025開催

- ・ 開催日：2025年8月25日（月）
- ・ 場所：リンクモア平安閣市民会館
- ・ 参加者：325名
  - ・ 開講挨拶・開催地挨拶
  - ・ 来賓挨拶
  - ・ 基調講演1「洋上風力発電事業における 地域企業等の参入に向けた方 向性について」
  - ・ パネルディスカッション1「洋上風力EEZ拡大法案によって環日本海地域で期待される変化」
  - ・ 基調講演2「我が国の洋上風力発電の現状と取組」
  - ・ パネルディスカッション2「港湾を核とした浮体式開発業務と地域への期待」
  - ・ パネルディスカッション3「青森×風力×若者－つなぐ、育てる、広げるキャリアのカタチ」
  - ・ 講評
  - ・ 閉会あいさつ



## 団体情報

### NPO青森風力エネルギー促進協議会 事務局

- 青森県青森市新町1丁目2-18
- 017-734-1311
- <https://www.awepc.jp>
- info@awepc.jp



# 4

秋田県

## 秋田風力発電コンソーシアム 『秋田風作戦』

全体会  
各種講演

異業種  
マッチング

国内外  
視察

周辺産業プレイヤーのプラットフォーム

### 団体概要

- 設立 2013年9月17日
- 会員数 166者（2025年10月末時点）  
業種 建設・土木・輸送（30%）、電気・機械設備／工事（20%）  
官学金（15%）、他（発電事業者、コンサル、放送局etc 35%）
- 代表者（会長） 佐藤 裕之（株式会社ウェンティ・ジャパン）
- 活動地域 秋田県秋田市（国内外視察は除く）
- 設立経緯 地元の風資源を風力発電事業を通じ、その周辺産業を創出させ地域経済に貢献するため2013年に設立
- 発足目的 目的の達成には様々な業種が集い、情報を共有し合い自然発生的にマッチングの場となることを狙い、2013年に70余者の会員数から始まっている。12年間の活動で会員数は大幅に増加。

### 活動概要

- 本会では年2回の全体会・総会を開催し、講演会等を通じた会員への様々な情報提供（陸上／洋上風力動向、O&M・製造分野etc）に取り組んでいる。
- 国内外の陸上／洋上風力発電所、メンテナンス施設や風車のコンポーネント製作工場等の視察（年1～2回）を通じて、最新の動向や周辺産業ビジネスへの参入機会に触れる場を創出している。



### トピックス

#### ■これまでの活動実績

- 講演会： 2013年～2025年10月現在 累計51社51名による講演実績
- 視察会： 国内）三重県 青山高原ウィンドファーム（2017年）  
海外）中国 瀋陽市 Tieling Windfarm（2018年）  
海外）中国 上海市 タービン部材製作工場他（2019年）  
国内）富山県 入善ウィンドファーム・七尾港（2023年）  
海外）台湾 フォルモサ洋上風力・製作工場他（2023年）  
国内）岡山県笠岡 JFEモノパイル製作工場（2025年）  
海外）イギリス Dogger Bank:洋上風力世界最大級（2025年）

2025.10 講演会・パネルディスカッション 2025.10 海外視察 イギリス ニューカッスル



#### ■風車メーカーと地元企業のマッチング事例

秋田県由利本荘市の三栄機械は風作戦でのGE（風車メーカー）との出会いから風車基礎部の「テンプレート（治具）」「ブレード運搬用アタッチメント」を受注。本部材は全国のGE製風車のサイトに出荷されている。



### 団体情報

秋田風力発電コンソーシアム  
『秋田風作戦』事務局

秋田県秋田市中通5-1-51

018-827-7435

<https://www.awpc.jp/>

info@venti-japan.jp

## 団体概要

- 設立年 2024年7月
- 会員数 山形県内全域より152者  
（2025年9月末時点）  
建設業、電気工事業、  
製造業、サービス業、  
商工団体等
- 代表者 会長 本間 知広（遊佐町商工会 会長）
- 活動地域 山形県庄内地域（遊佐町）を中心に活動
- 設立目的 山形県遊佐町沖洋上風力発電事業による地域の経済波及効果を最大化するために設立した地域内連携組織
- 発足経緯 2024年、遊佐町沖洋上風力発電事業が促進区域に指定されたことを受け、遊佐町内にて産学官金による経済波及効果等に関する勉強会を重ね、有志28者にて組成（アドバイザー：東北経済産業局・山形県・遊佐町・やまがた産業支援機構）



## 活動概要

- 情報の集約や会員への情報提供、会員同士の情報共有に必要な各種イベント開催
- 先行地域や人材育成拠点等の視察、交流会の開催
- 選定事業者・施工業者・サプライヤー等との交流会開催、マッチング等に資する各種イベントの開催
- 遊佐地域における共生策（協調策・振興策）の実現に向けた各種提言
- その他、地方創生につながる企画の立案



設立総会(2024/7/24)

## トピックス

## 「新年交流会」の開催

- 2025年1月31日、会員相互の連携を図るため、遊佐町沖風力発電事業の選定事業者をお招きし「新年交流会」を開催。
- 選定事業者である山形遊佐洋上風力合同会社様より遊佐町沖洋上風力発電事業概要をご説明いただき、懇親会では選定事業者の構成員の皆様や会員相互間で交流を図りました。



## 部会の設置

- 「視察・観光誘致推進部会」、「工事・建設部会」、「O&M・人材育成部会」の3部会を設置し、業種別の勉強会や視察等を開催。
- 会員企業の専門性を活かした洋上風力関連産業への参入を促進し、地域への経済波及効果最大化を目指す取組を進めております。



## 団体情報

## 遊佐町沖洋上風力産業振興プラットフォーム 事務局

- 山形県飽海郡遊佐町遊佐字石田19-18（遊佐町商工会 内）
- 0234-72-4422
- <https://yowp.jp/>
- [renraku@yowp.jp](mailto:renraku@yowp.jp)



# 愛媛県洋上風力 産業振興コンソーシアム

情報発信

マッチング

企業誘致

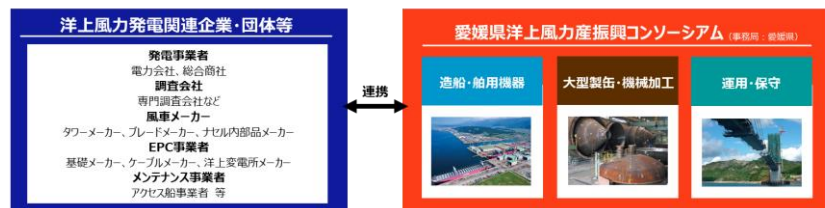
視察

## 団体概要

- 設立年 2024年5月
- 会員数 41社（2025年10月末時点）  
業種 造船業、輸送用機械器具製造業、機械加工業 等
- 代表者 愛媛県（事務局）
- 活動地域 国内外
- 設立目的 県内ものづくり企業の洋上風力発電市場への参入支援
- 発足経緯 再生可能エネルギーの切り札として市場拡大が期待されるとともに、本県の強みである造船・船用機器製造や大型製缶・機械加工など、優れた製品・技術力が活かせる有望市場と捉え、中長期的な視点で市場参入を目指すため設立

## 活動概要

- 個別マッチング
- 国内外関連企業とのネットワーク構築
- 大型展示会（WIND EXPO）への出展
- 洋上風力発電先進地域の視察
- セミナーや情報交換会の実施 等



コンソーシアムのネットワークを活用しながら県内企業の新たな商談機会を創出

## トピックス

### 「えひめの洋上風力発電関連企業ガイドブック」作成

- 風車製造、基礎製造（着床式・浮体式）、O&Mなど、各分野において卓越した技術力を有する23社の多彩な企業情報を紹介  
→今年度の更新で掲載企業数が33社に増加予定
- 保有機器のスペックや技術力など具体性の高い情報を中心に整理
- ガイドブックと連動した特設サイトも構築（日本語版・英語版）



県内企業の技術力や製品の強みを可視化し、国内外に広く情報発信

### 洋上風力発電先進地域の視察および大型展示会への出展

- 長崎県での浮体式洋上風力発電視察  
国内初の浮体式洋上風力「はえんかぜ」の視察を行うとともに、長崎海洋アカデミーの受講を通して洋上風力発電の知見やノウハウを習得
- 「WIND EXPO」に愛媛県ブースを出展  
2026年3月17日（火）～19日（木）に開催される国際風力発電展「WIND EXPO」に県内企業と出展【R6年度実績】  
県内企業4社が出展し、発電事業者や大手メーカーをはじめ欧州企業との商談を実施



国内外の関係企業・団体・自治体等とのマッチングやネットワーク構築へ

## 団体情報

愛媛県洋上風力産業振興コンソーシアム 事務局  
（経済労働部産業政策課スゴ技グループ）

愛媛県松山市一番町四丁目4番地2

089-912-2473

<https://sugowaza-ehime.com/cluster/offshorwind/>

[sangyoseisaku@pref.ehime.lg.jp](mailto:sangyoseisaku@pref.ehime.lg.jp)

# 7

## グリーンエネルギーポートひびき事業 (北九州市)

福岡県

情報発信

視察

実証・研究開発

人材育成

企業誘致

### 事業概要

- 事業開始 2011年度～
- 市長 武内 和久
- 洋上風力発電  
関連立地企業 基礎構造物、ベアリング、ギアボックス、ケーブル、発電機、船舶、O&M、トレーニングセンター等
- 活動目的 洋上風力発電に必要なあらゆるサービスを提供するための「風力発電関連産業の総合拠点」の形成により、北九州市域の産業振興、雇用創出を目指す



### 活動概要

■ プロジェクト立ち上げ当初から、戦略性をもって段階的に活動を展開。

■ 今後主流となる浮体式に対応するため、響灘西地区における「浮体式総合拠点形成」を軸に3つの課題を柱にスピード感を持って、ACT2を展開していく。

Phase 1	【風車実証公募事業】 ・ 2013年度 風車実証研究及び産業集積に繋がる企画の募集 ・ 風車の実証試験・O&M拠点・研修施設の設置などを実現	2011年～
Phase 2	【本格的な大規模洋上ウインドファームの開発】 ・ 2016年度 (仮称)北九州響灘洋上ウインドファーム計画案を採択 ・ 2023年春 工事着手 ・ 2025年度中 運転開始	2016年～
Phase 3	【総合拠点形成】 ・ 総合拠点の基盤となる「基地港湾」及び周辺産業用地の整備 ・ 西日本地域の市場開拓 ・ 総合拠点への企業・船舶の誘致	2017年～
ACT II	【次世代型総合拠点の形成】 ① 「浮体式」への対応 ② 風車の超大型化への対応 ③ 先進的O&M拠点の形成と人材育成	2023～2030年

### トピックス

#### 北九州響灘洋上ウインドファーム

■ 改正港湾法第1号案件である響灘洋上WFは、令和5年3月に着工し、令和7年8月末に25基全ての風車の設置が完了した。

■ 年度内の運転開始を目指し、現在試験運転中。

<概要>

発電所名：北九州響灘洋上ウインドファーム

事業主体：ひびきウインドエナジー株式会社

総事業費：約1,700億円程度

総出力：最大22万キロワット程度

(≒9.6メガワット機×25基)



#### 響灘西地区の開発

■ 響灘東地区の着床式総合拠点に続き、響灘西地区において、浮体式総合拠点形成を進めている。

■ 両地区のシナジー効果により、船舶や重機のアイドルタイム削減など、生産性と効率性の向上が見込まれる。

響灘西地区

響灘東地区



団体情報

北九州市港湾空港局 洋上風力拠点化推進課

北九州市小倉北区城内 1-1

093-582-2994

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/30300033.html>



## 福岡県風力発電産業振興会議

情報発信

マッチング


人材育成

視察

案件形成

調査

## 団体概要

- 設立年月日 令和3年11月26日  福岡県風力発電産業振興会議  
Fukuoka Prefecture Wind Power Industry Promotion Association
- 会員数 237企業・団体（2025年10月末時点）
- 会長 九州電力株式会社 貫 正義 特別顧問
- 活動地域 福岡県内
- 設立目的 福岡県への風力発電産業の集積および  
県内企業の参入促進による地域経済の振興

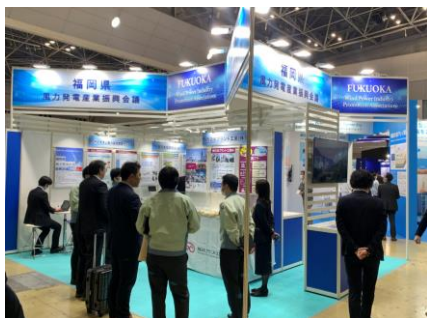


本振興会議HP

## 活動概要

- 風力発電関連企業の本県への進出並びに参入促進を図るため  
必要な事業を実施

- (1) セミナー・勉強会
- (2) 洋上風車視察会
- (3) 専門家派遣
- (4) 大規模展示会への出展支援
- (5) 洋上風力発電人材育成講座等  
への補助
- (6) 企業見学・出前授業
- (7) 職業訓練

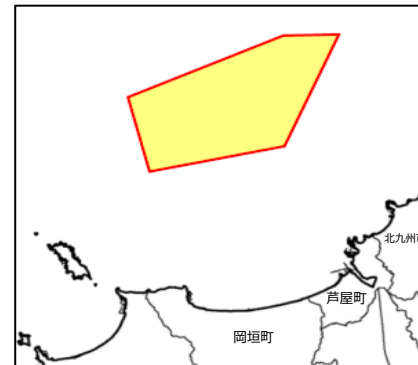


大規模展示会 (WIND EXPO) の様子

## トピックス

福岡県響灘沖、洋上風力発電導入へ前進！  
～「有望区域」に格上げ、新たなステージへ～

- 所在地 福岡県響灘沖  
(北九州市、芦屋町、岡垣町)
- 面積 51 k m<sup>2</sup>
- 想定出力量 51万 k W (15MW機、34基)  
※系統容量ベースは、48万kW
- 年間発電量 一般家庭約30万2千世帯分  
(県内全世帯数の約12%)
- 区分 着床式
- 設置事業費 約5,100億円（想定）



響灘沖における対象区域案

## 第1回勉強会（11月5日）を開催

## ～ 福岡県から服部知事が出席しました ～

- (1) 「響灘沖への洋上風力発電導入及び  
福岡県の人材育成事業の取組」  
・ 本振興会議事務局長 岩尾 和孝  
(福岡県エネルギー政策室長)
- (2) 「洋上風力発電所の保守管理を  
現場で実践するために必要なこと」  
・ 丸紅洋上風力開発株式会社  
能代運転管理事務所長 佐藤 俊介 氏
- (3) 会員向け人材育成補助対象事業の紹介



挨拶する服部知事

団体情報

福岡県風力発電産業振興会議 事務局（福岡県エネルギー政策室）

福岡県福岡市博多区東公園7-7

092-643-3228

<https://f-wpa.jp/>[info@f-wpa.jp](mailto:info@f-wpa.jp)福岡県風力発電産業  
振興会議  
Fukuoka Prefecture Wind Power Industry  
Promotion Association

## 団体概要

- 設立年 2023年8月  
148者（2025年10月末時点）
- 会員数  
業種 製造業、調査・コンサル業、土木建設工事業、海運・運送業、O&M業、商社、発電事業者、金融、大学、自治体等  
（九州外の企業・団体も参加可）
- 活動地域 九州内、全国
- 設立目的 九州地域における洋上風力関連産業の振興のため、参加者間での情報共有・意見交換・個別事業の連携等を実施  
2022年度に九州経済産業局が実施した調査において、地域企業が新規参入を検討するにあたり、市場情報や他社とのネットワークが不足していることが判明。これらのニーズに応えるべく発足。
- 発足経緯



## 活動概要

- 洋上風力に関する各種セミナー・勉強会の開催

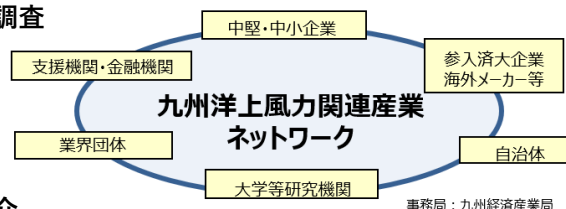
- 業界構造整理・参入可能性調査

- 会員の設備機器情報の公開

- 各種マッチングの支援

- 補助金等支援メニューの紹介

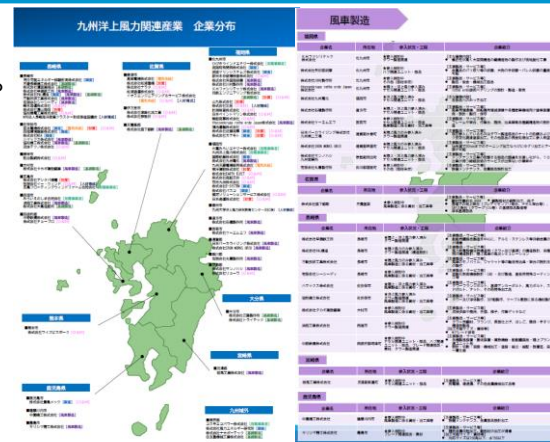
- その他、メルマガ等による情報提供



## トピックス

## 九州洋上風力関連産業 サプライチェーンマップ

■ 九州内の有望な地域・技術を見える化することで、九州および洋上風力産業への投資や企業間連携を促進することを目的として作成・公表。  
半年に1回程度更新予定。



## 分野別部会（勉強会）の開催

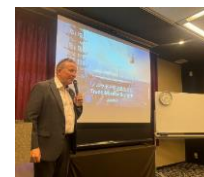
- 参入時の取引先となりうる大手企業を講師として、完全クローズドなマッチング会よりも参加しやすく、参加自由なオープンセミナーよりも掘り下げて専門的に学び交流する場として2024年度から開催。



## 外部機関との連携

- ノルウェー大使館と連携し、ノルウェー企業と九州企業との意見交換・交流会を実施。

（2025年9月24日）



九州洋上風力関連産業ネットワーク事務局  
（九州経済産業局 資源エネルギー環境課）

福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目11番1号

092-482-5499

<https://www.kyushu.meti.go.jp/seisaku/kankyo/offshorewind.html>

bzl-k-kanene@meti.go.jp

# 唐津GX推進プラットフォーム (唐津市)

情報発信

視察

政策提言

案件形成

## 団体概要

- 市長 峰 達郎
- 活動地域 佐賀県唐津市内
- 取組開始 2019年(令和元年)～
- 目的 佐賀県と連携して洋上風力発電事業誘致実現による唐津市内での新産業創出・雇用創出による地域経済活性化を目指す
- 現在の状況 唐津市沖が再エネ海域利用法における「準備区域」に整理 ※2021年(令和3年)に初めて整理



## 活動概要

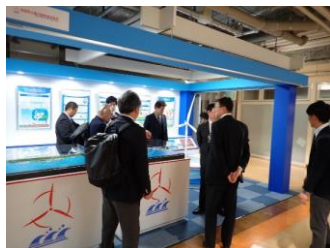
### ■ 域内合意形成に向けた普及啓発

洋上風力発電事業誘致に向けた、離島住民・漁業者・市民・企業・商工団体等への説明会やセミナーを佐賀県と連携して区域整理前から現在も継続的に実施。



### ■ 先進地視察

誘致が実現した場合に市内企業の洋上風力発電関連産業への参画を促進するため、先進地視察やセミナーを実施。



### ■ 陳情・要望活動

「有望な区域」への指定に向け、佐賀県・国への陳情・要望活動を実施。

## トピックス

### 「唐津GX推進プラットフォーム」を設立！

■ グリーントランスフォーメーション(GX)に向けた取り組みを支援するため、産学官金の連携による情報共有・協力体制のネットワークの場を構築することで、市内事業者の産業競争力強化及び市内の産業振興、ひいては地域経済活性化を図ることを目的に2025年(令和7年)1月に唐津市・商工3団体が発足となり設立。2025年(令和7年)9月時点で27の構成員が参画中。

■ 本プラットフォーム構成員の中で、洋上風力発電関連産業に関心が高い企業と勉強会を実施している。(先進地視察も実施予定。)



## 活動内容

- 01 情報発信・情報共有
  - ✓ セミナーの開催
  - ✓ 補助金等関連情報の発信
- 02 事業モデル構築・ビジネス創出支援
  - ✓ 地域企業が主導する環境・エネルギー分野の事業モデル構築・ビジネス創出支援
- 03 構成員間の意見交換・マッチングの場の提供
  - ✓ 異業種事業者間の意見交換の場の提供
  - ✓ マッチング機会の創出
- 04 技術力向上・人材育成支援
  - ✓ 技術力向上のため研修等派遣支援
  - ✓ 人材育成事業の実施



唐津GX推進プラットフォーム

## 団体情報

唐津市 商工観光部 新エネルギー産業課

- 📍 佐賀県唐津市西城内1番1号
- ☎ 0955-72-9206
- 🌐 <https://www.city.karatsu.lg.jp>
- ✉ [shin-ene@city.karatsu.lg.jp](mailto:shin-ene@city.karatsu.lg.jp)



# 特定非営利活動法人 長崎海洋産業クラスター協議会

情報発信	マッチング	実証・研究開発
人材育成	視察	政策提言
案件形成	調査	企業誘致

## 団体概要

- 設立年月 2014年3月(任意団体)、2014年10月(NPO設立)
- 会員数 正会員数 99法人(2025年10月末時点)  
業種 賛助会員数 26団体  
製造業、造船業、海運業、海洋土木業、環境調査業等
- 代表者 理事長 坂井 俊之(協和機電ホールディングス株式会社)
- 活動地域 国内
- 設立目的 産学官の連携のもと、海洋関連市場への参入をめざす長崎県内企業を支援・育成することにより、長崎県域を核とする海洋産業クラスターの形成を図り、もって地域産業の振興及び雇用の創造に寄与することを目的とする。
- 発足経緯 海洋再生可能エネルギーを柱とする海洋産業分野を新たな基幹産業と見据え、産業界を牽引する民間主導の団体として発足。  
2014年10月にNPO法人を設立し、本格的に活動を開始。



## 活動概要

### ■ 活動の重点3分野と主要6事業

- (1) 人材育成(社会人向け)
  - ① 長崎海洋アカデミー(技術者)
  - ② NOA TRAINING(技能者)
- (2) 共同研究とその事業化
  - ③ フィールドセンター(実海域試験)
  - ④ 潮流発電
  - ⑤ 国産浮体式風況観測ライダー
- (3) サプライチェーン形成
  - ⑥ 洋上風力発電事業への県内企業の参入促進



## トピックス

### 高度専門人材育成、他地域との連携推進中

#### (1) 長崎海洋アカデミー(通称「NOA」)

- ・ 洋上風力発電導入拡大には、専門技術者の育成が喫緊の課題。  
アジア初となる専門人材育成アカデミーを開講。  
(2020年10月開講、10コース、累計1,118名受講)
- ・ 新たなコース開講  
**2026年度：漁業共生コース**  
**2027年度：O&Mコース**



#### (2) NOA TRAINING

- ・ 洋上風力発電技能者に求められるGWO訓練を日英で受講できる国内最大の訓練施設を開講。  
2024年11月：基本安全訓練(BST)、上級救助訓練(ART)、上級応急処置(EFA)
- ・ 新たなモジュール開講  
**2026年5月：基本技能訓練(BTT)、玉掛け(SLS)**  
**2027年度：実海域でCTVと洋上訓練タワーを活用した移乗訓練**



### フィールドセンター(実海域試験)運営事業

- ・ 長崎市伊王島、高島、香焼地域を拠点に、海洋機器の実海域試験のための実証フィールドと諸手続きを支援するサービスを提供。
- ・ これまでに、**17件の実証実績**あり  
(2025年10月末時点)



## 団体情報

### 特定非営利活動法人 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会

- 長崎県長崎市出島町1-43 D-FALF105
- 095-893-8251
- <https://namicpa.com/>
- info@namicpa.com

